

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第一回豊島区教育ビジョン検討委員会幼児教育部会 (幼児教育のあり方検討委員会《第 2 次》)
事務局(担当課)		庶務課
開 催 日 時		令和 6 年 3 月 19 日(金) 16 時 30 分～17 時 30 分
開催場		豊島区役所 教育委員会室
議 題		1. 教育ビジョン検討委員会 幼児教育部会(幼児教育のあり方検討委員会《第 2 次》) の設置について 2. 豊島区における幼児教育をめぐる変遷・検討状況について 3. 検討スケジュール案について
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 0 人 非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員 (敬称略)	田代 幸代 箕輪 潤子 鈴木 恭子 山口 範子
	その他	教育部長、障害福祉サービス担当課長、子ども若者課長、子育て支援課長、子ども家 庭支援センター所長、保育課長、保育政策担当課長、保育支援担当課長、庶務課長、 学務課長、統括指導主事、教育センター所長、区立小学校長、区立幼稚園長
	事務局	教育施策推進担当課長
欠席		指導課長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
事務局	挨拶 委嘱状の交付について 委員名簿の配布
田代部会長	この度は、豊島区の教育ビジョン検討委員会幼児教育部会ということで、これから先、最も大事な乳幼児期の教育をどうしていくのか、乳幼児期の保育や教育を一体として児童期にどう繋いでいくのかということで、非常に任務の重い役と思っております、どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	(説明) 会議の公開について 会議録の公開 本日の傍聴希望者はいません。
田代部会長	議事番号1から3について事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(議事1～3の説明)
田代部会長	議事番号1～3まで説明していただきました。 本日は最初の検討委員会となりますので、委員の皆様から、自己紹介をいただきながら、ただいま事務局から説明いただいた資料も含め、今回の幼児教育の検討に向け、ご意見などをお聞かせいただければと思います。
T 委員	今、特に幼稚園に通うお子さんが少なくなっているというご説明をいただきました。この委員会の中で、これまで公立幼稚園が果たしてきた役割、また保育所も含めて、豊島区で幼児教育をどのように考えるか、ということを改めて委員の皆様と議論をしたうえで、様々なことを考えていくことができればいいと思っております。また、公立保育園も子ども家庭部の方で検討されるということですので、ご説明にあったように、幼児教育を抜本的に保育所も幼稚園も含めて考えていくというところでありましたので、そこのところも踏まえながら、議論をしっかりと進めていく、連携していくことができればと思っております。
E 委員	こういう会議は初めて参加しますが、豊島区にある私立幼稚園の者として、豊島区の教育のあり方をしっかり学ばせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

L 委員	私もこのような場所に任命いただきまして、大変恐縮でございますが、幼児教育を行う身として参考にさせていただきたいと思っています。保育園需要は伸びてはおりますが、社会の背景として父親の育児休暇なども普及しておりますので、現場の人間としましては、子育てにとっても力を入れている社会になっているという感想をもっております。当園も休日保育、病後児保育、一時保育、といった運営をしておりますので、豊島区に未来のある、豊島区に根付く子供たちを育てていけたらいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
区立小学校長	昨年度から園長職務代理をしております、小学校の経営と幼稚園の経営の両方をさせていただいているところです。現状は、原因は色々あるとは思いますが、年々入園数が減っているのは明らかな事実。とはいえ、私は園長の仕事をさせていただいて、幼児教育、いわば区立幼稚園の果たしている役割は、すごく充実していると思っています。施設もすごく良い施設を用意しておりますし、逆に少人数になったので、一人のお子さんにかけられる時間が長くなっています。 現状を踏まえて、どういう対応をしていったらいいのかを区立幼稚園だけの問題ではなくて全ての就学前施設の課題として考えていかなくはないと思っております。
区立幼稚園長	前回のあり方検討会の方でも委員として参加させていただきました。豊島区に務める公立幼稚園の園長として 10 年経ちます。前回のあり方検討でありました通り、豊島区における幼児教育のセンター的機能としての役割ということは果たしていきたい、ということで運営してきました。公立幼稚園として今までやってきた教員の研修、特別支援教育、何か区の幼児研究会の方でも皆様に発信できるように、特別支援教育の資料を作るとか、医療的ケアのお子さんを受け入れたりすることなどもしてきました。その他、自分たちでも色々努力をしております。何かこれまでやってきたものを豊島区の幼児教育として活用すると同時にこれからはもっと質をあげるために今回のこの会に参加させていただくなかで、未来に向かって考えていきたいと思っております、よろしくお願いいたします。
子ども家庭部長	保育園でも教育をするとなった段階で、幼稚園と保育園、機能は違っていますが、果たす役割はどう違うのだろうという点が私の一番の疑問でございます。小学校に上がった後の子供たちにどうゆう違いがあって、子供の育ちの中で、どういった影響があるのかということも含めて考えていく中で、豊島区の幼児教育のあり方を何かみつけることができるのではないかと思います。この会議体では、先生方の意見をいただきながら様々な観点から豊島区の幼児教育を考えていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

教育部長	本会の設置の経緯ですとか今の園児数の推移ですとかは先ほど事務局から説明させていただいた通りでございます。アンケートを今1万6千人の声を集めてきて、今後集計があがってくると思います。こういう意見をベースにしながら、また各委員のご意見を賜りながら、ひとつでも良い施策に繋がるように幼児教育のあり方について検討していきたいと思います。
庶務課長	庶務課の方では教育ビジョンの委員会の運営をしております、そちらの方でも、この幼児教育を5つの柱のひとつとして位置付けております。この検討委員会でいろいろ検討していただいて、より良い幼児教育として、その後に続く、小学校、中学校と円滑に子供たちが育つようなものができればいいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
学務課長	区立幼稚園につきましては先ほど事務局からも説明がありましたけれども、今のニーズとか、今後の人口動態なども含めて、様々な観点から検討していく必要があると思っています。これまでの区立幼稚園の役割みたいなのところも改めて整理する中で、豊島区ならではのやりかたというのを専門の皆様の意見も反映していかなければいけないと思っておりますので、活発なご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。
統括指導主事	本日は指導課長が公務のため、欠席させていただいておりますので、代わりに参加させていただいております。指導課では区立幼稚園、そして小学校、中学校を担当させていただいております。その中で、区立幼稚園には区立保育園、私立保育園との連携というところでお願いをさせていただき、教育課程にも位置付けております。そこからの繋がりを大切にしながら、次の小学校、中学校と切れ目のない支援をするためにはどうすればいいかというのをこの会の意見を参考にしながら指導課でも考えていきたいと思っています。
教育センター所長	教育センターでは、特別支援ですとか就学相談などを担当しております、発達支援で不安がある場合には相談にのっています。相談件数は増加の傾向にありまして、発達の支援への関心というのは高まっていると感じております。そのあたりで、何か教育センターとしてお役に立てることがあればと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
障害福祉サービス担当課長	障害福祉課は障がい者・障がい児への様々なサービスを提供している課でございます。障がい児の方、例えば通所支援事業所のうち、未就学の場合は児童発達支援事業所がありますが、そちらを希望する方が非常に増えていると状況があります。色々述べさせていただければと思います。
子育て支援課長	子育て支援課では子育て家庭への支援を行っておりまして、特に保育園をお選びになるのか、幼稚園をお選びになるのか、そういった子育て家庭の悩みに寄り添って、一緒に考えるような部署になっております。そういった中で幼稚園の役割、保育園の役割、また変化の激しい子育て家庭のニーズからみて、保

	育園なのか幼稚園なのか、またはそれぞれがどのようなあり方なのかというところ、ニーズを押さえながら、という視点をもって会議にも参加したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。
教育施策推進担当課長	事務局を担わせていただいています。「区立幼稚園の役割」、「認定こども園の設置」、「幼児教育センターの設置」、「幼児教育アドバイザーの設置」、「保幼小連携」と、本当に検討すること、やらないといけないこと、逆に言うと今できてないことが本当に沢山あると私自身思っているところです。豊島区の幼児教育をなんとかするのだという気持ちを今後も引き続き持っていきたいと思っておりますので、皆様、忌憚のない意見とアドバイスをよろしくお願いいたします。
田代部会長	せっかくの機会ですのでその他ご意見ある方いますか。 言い忘れたこと、付け加えたいことあればご発言ください。
区立幼稚園長	検討事項がいっぱいありましたが、実際の幼稚園としては保幼小の連携とかも、自分の実践としては近くの保育園と子供たちがドッジボールしたり、現場のレベルではやっている。他の幼稚園・保育園もそれぞれの園の努力でやっていたりする。逆にいえば、行政にもっと促してもらう雰囲気というものがあればかなり進むような感じがする。幼児教育センターの設置、幼児教育アドバイザーの設置、幼稚園のセンター的機能の役割は、幼児教育を繋いでいくという役割では別々の問題じゃないと、資料をみて思いました。
田代部会長	一回目ということで区の現状の説明、これまでの経緯、そして現在の問題点、これから検討すべきこと、色々と情報提供していただいて、明らかにしていただけたと思っております。このように色々な部署の人が集まって豊島区の幼児教育について考えていかれるようなこの機会は、大変貴重な機会と考えております。幼児教育を考えるというのは20年後の豊島区を考えることではないかと私は思っております。私は3点ほど感じていることがございまして、まず1点目は、待機児童もゼロになっておりますし、量は十分に実現できているという状況が豊島区はあると思います。この量から質へということで、今ある既存の公立幼稚園、そして公立保育園、私立の幼稚園、私立の保育園、こども園等、色々な就学前教育保育施設がありますが、そういった全ての豊島区内の幼児教育が、量から質へ転換していくためのこの検討会にしていきたい。と感じております。 2点目は、連携という話がでておりました。地域での同じ幼児教育施設同士の連携もございまして、幼児期から児童期へ接続していくそういった連携もあると思います。これからは単なる連携ではなく、接続をしていかなければならないわけですね。幼小で連携活動をしたということではなくて、教育の道筋、子供の育ち、学びを接続していくためにどう就学前教育があつたらいいのか、

	これをつくっていくのも、この委員会の大事な役割かなと思っています。 3 点目は、色々な保護者の方のニーズがあります。障がいをお持ちのお子さんもおられますし、外国籍のお子さん也大変多いのが豊島区ではないかなと思っています。 家庭での子育てに悩んでいる方、働きたい保護者の方、色々なニーズをしっかりと捉えて、そのニーズに沿った役割を 3 園の公立の幼稚園がどういう形で展開していくことが豊島区にとっていいのか。そういったことを考えていかれる委員会にしたいなと個人的には思っております。どうぞよろしくお願いいたします。 本日委員の皆様から頂いた意見を踏まえまして、次回以降の資料作成等検討に向けた作業進めていきたいと思います。
事務局	事務連絡 次回のスケジュール 閉会